

「弥勒寺官衙遺跡群とムゲツ氏」

みろくじかんだいせきぐん

関市池尻の「弥勒寺官衙遺跡群」は、古墳時代から奈良・平安時代の遺跡が残り、国の史跡(文化財)に指定されています。関市では平成27年、歴史と自然に親しむ遺跡公園として一帯を整備するために「弥勒寺史跡公園整備基本計画」を策定し、整備を進めてきました。今年度、第1次整備が完了したことを記念し、シンポジウムを開催します。

古代の役所や寺院の跡がまとまって残り、遺跡に関連する「ムゲツ氏」が文献に登場する「弥勒寺官衙遺跡群」。その価値や魅力について、最新の研究成果も含めて、委員として整備に携わってきた三氏にお話しいたします。

日時 令和5年1月29日(日)

午後1時～4時30分

会場 アピセ・関 多目的ホール

参加費 無料

定員 150名(事前申込制・先着順)

申込先 関市文化財保護センター

☎0575-45-0500

《プログラム》

13:00-13:30 【挨拶】 【史跡の概要】

13:30-14:30 【基調講演】 坂井秀弥 氏(奈良大学名誉教授)

「地域で生かそう史跡・文化財―史跡弥勒寺官衙遺跡―」

14:45-15:30 【講演①】 早川万年 氏(元岐阜大学教育学部教授)

「文献史料から見たムゲツ氏」

15:30-16:15 【講演②】 海野 聡 氏(東京大学大学院准教授)

「弥勒寺官衙遺跡の正倉遺構」

16:20-16:30 【アフタートーク!】

パネリスト 坂井秀弥 氏 早川万年 氏 海野 聡 氏

担当：協働推進部文化課 関市文化財保護センター 伊藤・吉田

TEL 0575-45-0500 FAX 0575-46-1221 武芸川町八幡1446-1(武芸川事務所2階)